

(お知らせ)

令和元年7月4日
防 衛 省

6月下旬からの大雨に係る災害派遣について (最終報)

※数値等は速報値であり、今後変わることがある。

※下線部は、前回報告からの変更箇所

1. 概要

令和元年6月下旬からの大雨に伴い、7月3日(水)14時53分、鹿児島県知事から陸上自衛隊第8師団長に対し、土砂災害及び洪水災害の準備及び対処に係る災害派遣要請があった。

鹿児島県においては、約200名の隊員が、警察、消防と連携しながら、現地で河川の監視等の情報収集等の活動を実施。また、第12普通科連隊の部隊が道路啓開(土砂除去)を、鹿児島県南さつま市及び鹿児島県鹿屋市輝北町において実施。

2. 防衛省・自衛隊の対応

(1) 部隊の態勢

九州地方の部隊を中心に約1万4千人が即応態勢。

(2) 主な対応状況

①活動部隊の状況

【3日(水)】

10時00分 防衛大臣の指示。

- 1 自治体及び関係省庁と緊密に連携し、陸海空のあらゆる手段を活用して情報収集活動に努めること。
- 2 土砂災害、低い土地の浸水、河川の氾濫など、被害が発生した場合に備え、必要な場合には要請を待つことなく救援活動を行えるよう万全の準備態勢を確立すること。
- 3 今後の状況の推移に的確に対応し、災害対応に万全を期すこと。

14時53分 鹿児島県知事から第8師団長に対して、土砂災害及び洪水対策準備に係る**災害派遣要請**。

15時00分 第12普通科連隊の初動対処部隊(人員約30名、車両約10両)が、情報収集及び警戒のため、鹿児島ふれあいスポーツランドに向け駐屯地を出発。

15時25分 第12普通科連隊の部隊(人員約40名、車両約10名)が情報収集及び警戒のため、南さつま市防災センターに向け駐屯地を出発。

20時15分 防衛省関係幹部会議を開催。

【4日(木)】

05時42分 第8飛行隊のUH-60×1が航空偵察のため、高遊原分屯地を離陸。

08時02分以降 第12普通科連隊の部隊人員約25名が人命救助活動のため、曾於市へ向け順次出発(10時18分以降順次到着し、人命救助活動を開始)。

08時05分 西部方面航空隊のUH-1×2機(映像伝送機)が情報収集のため駐屯地を離陸。

10時10分以降 第12普通科連隊の部隊(人員約15名、車両約10両)が、鹿屋市輝北町ふれあいセンターにおいて給水活動を開始。

13時15分 第8飛行隊のUH-60×1機が航空偵察のため、鹿屋市に向け駐屯地を離陸。

19時30分 鹿児島県知事からの撤収要請を受け、活動を終了。

②連絡員(LO)の状況

○ 派遣先

宮崎県庁、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、綾町、椎葉村、小林市、えびの市、高原町、鹿児島県庁、霧島市、日置市、いちき串木野市、湧水町、南さつま市、鹿児島市、始良市、曾於市、指宿市、阿久根市、枕崎市、志布志市、肝付町、垂水市、東串良町、出水市、鹿屋市、南九州市、大崎市、熊本県庁、阿蘇地域振興局、宇城市、水俣市、熊本市、永川町、五木村、相良村、山江村、水上村、湯前町、津奈木町、苓北町、天草市、芦北町、球磨村、人吉市、多良木町、あさぎり町、錦町、鏡町、川内市